



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 10 月 23 日 (現地時間) に、英国および米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2014 年 10 月 29 日

**モバイル印刷を簡単に: Mopria™ が CSR IPS™ プリント・インタプリタ・ソフトウェアを認定
～IPS™ Universal Interpreter が、ユーザーに『ウォークアッププリンティング』を提供する
業界アライアンス・プロトコルのサポートを追加～**

[CSR plc](#) (ロンドン証券取引所略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、同社の [IPS™ Universal Print Interpreter](#) が、Mopria™ Alliance モバイル印刷規格との互換性認定を受けたことを発表しました。Mopria 認定は、対応モバイル機器とすべての認定ブランドのプリンタ間の接続と情報交換を保証し、シームレスなモバイル印刷を実現します。Mopria モバイル印刷プロトコルの実装は、すでに業界で最も広く採用されているプリント・インタプリタ・ソリューションである CSR の IPS ソフトウェアの優れた互換性と性能をさらに際立たせるものです。

Mopria アライアンスは、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からワイヤレスで簡単に印刷できるようにすることを目的に、国際的な先進テクノロジー企業が集結した団体です。Mopria 規格では、モバイル機器からの印刷が従来の PC を介した印刷よりも簡単になります。また、モバイル印刷の業界標準に準拠することで、追加設定手順を不要とし、簡単にモバイル機器から対応プリンタに無線データ伝送し、印刷できるようになります。CSR は、このアライアンスのエグゼクティブ・メンバーとして、また、SoC、接続性、ソフトウェアを包括する体系的ソリューションを提供する唯一のグローバル・ベンダーとして、モバイル印刷標準規格の策定と採用を最前線で推進しています。市場調査会社の IDC は、モバイル・ワーカー数が 2015 年には 13 億人、全労働人口の 37.2 パーセントに達すると予測しています^{註1}。同社はまた、2015 年にはスマートフォンおよびタブレット利用者の 75% が、モバイル機器から直接印刷できる環境を望むようになると指摘しています^{註2}。

註 1: 出典: IDC「Worldwide Mobile Worker Population 2011 – 2015 Forecast」(2012/1)

註 2: 出典: IDC「Mobile Device Users / Non-Users: Print, Document Management」(2013/3)

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「文書の多くは小型画面で読むには複雑すぎるので、近くのプリンタで印刷できる機能は、特に規模の大きな企業の従業員にとって、とても便利です。Mopria サポートを追加したことで、CSR は、高品質で便利な無線印刷の提供というビジョンの実現に向け、また一歩前進しました」

CSRのIPS Universal Print Interpreterソフトウェアを搭載すれば、そのプリンタはApple AirPrint™やGoogle Cloud Print™などのモバイル印刷プロトコルだけでなく、幅広い従来型ソース、例えばデスクトップ、グラフィック・アート・アプリケーション、ERPシステム、エンジニアリング・アプリケーションなどから送信される印刷ジョブを確実に処理できるようになります。IPSは、Mopriaやその他印刷プロトコルの推奨フォーマットであるPDFファイルのレンダリングを、ネイティブ・インタプリタと透過レンダリング・モデルによって最適化します。その際、別のフォーマットに変換したり、透過型コンテンツを「平坦化」してしまうことはありません。

IPSは、現在市場に流通するソリューションの中で唯一、標準印刷言語 (PostScript、PDF、PCL 5、PCL 6、XPS) のすべてに対応しています。IPS Universal Interpreterにより、すべての印刷言語が単一ソリューションに集約されるため、プリンタおよび複合機メーカーは、RAMとフラッシュROM双方のメモリ使用量(フットプリント)を最小化し、コストを削減できます。

CSRの印刷ソリューションの詳細については、<http://www.csr.com/products/application/printers> をご覧ください。

###

本プレスリリースは 2014 年 10 月 23 日 (現地時間) に、英国および米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

原文は <http://www.csr.com/news/pr/2014/mopria-certifies-csr-ips> をご参照下さい

関連リソース:

*製品画像

Mopriaアライアンスロゴ(9KB PNG):

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/mopria_alliance_logo_0.png

*CSR IPS™ Universal Print Interpreterの詳細(英文) <http://www.csr.com/products/122/ips>

* 関連プレスリリース:「CSR、Mopria Allianceにエグゼクティブ・メンバーとして加入」(14/1/13)

<http://www.csr.com/news/pr/2014/japan-csr-joins-mopria>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。CSRの技術者たちが精力的に開発しているのは、ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth(R) Smart、屋内測位システムを中心とした高機能な半導体、ソフトウェア、サービスです。CSRは、世界各地の先進のお客様と連携し、お客様の優れた発想を、市場をリードする製品へと結実させるため、高機能かつ他製品との差別化を図ることのできるテクノロジー・プラットフォームを提供しています。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、CSRの最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX(R)の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

Mopria™ Allianceについて

Mopria™ Allianceは先進グローバル・テクノロジー企業をメンバーとする非営利団体であり、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からの印刷を簡素化することを初期の目標としています。当アライアンスでは、異なる機器とモバイル用OSを接続する直観的な操作性を提供する技術規格を開発、推進しています。こうした規格により、利用者は使用ブランドに関係なくプリンタにシームレスに接続できます。また、新しいモバイル機器やプリンタ用に、アプリのダウンロードや設定を行う必要もなくなります。Mopria対応モバイル・デバイスでMopria対応プリンタとアクセサリを探せば、印刷を簡単に実行できます。詳しくは、www.Mopria.orgをご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRのIPS Universal Print Interpreterソフトウェア及びそれが各種無線機器、それらのOSまたは各種家電製品に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRのIPS Universal Print Interpreterソフトウェアまたはそれらの技術を搭載した家電製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth(R)およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

Wi-Fi(R), Wi-Fi Alliance(R), WMM(R), Wi-Fi Protected Access(R), WPA(R), WPA2(R), Wi-Fi Protected Setup(TM) 及び Wi-Fi Multimedia(TM) はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<製品に関するお客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com